

平曲吟譜新集 卷九

生好

平家正節一之下、名古屋伝承句

宇治川

平家正節三之下、名古屋伝承句、
換節

生好 宇治川
 口説 廻る土日本者の危る願義仲院統し
 て平家追討の院宜を奉まろく西國へ
 散向ま座き由を奏ゆけ同十三日既よ
 門途とゆへるバ豫念の木の右兵衛佐頼朝
 木着が根籍頼人忠能頼義経を先として
 数万騎の軍兵を指巻りまらるる虎より美濃の



文化庁
 平成21年度文化庁
 芸術団体人材育成支援事業

本コンテンツは、文化庁の委託業務として、平曲研究所が実施した平成21年度芸術団体人材育成支援事業 鳴海家本「平曲吟譜新集」に関する情報交流の成果を取りまとめたものです。

従って、本コンテンツの複製、転載、引用等には文化庁の承認手続きが必要です。

玉伊勢の國^上も恙^コとゆ^{主上コ}へし^上ハ木^コ名^{上コ}大^{上コ}なる
 宇治勢多の橋^{上コ}を引^コて軍兵共^{上上コ}を^上別^上ち
 送^中に^{中一}杉^{中一}が勢^{中一}こそせうけ^上き^上拾^上先^上大^上なる^上水^上
 迎^上勢^上多^上の橋^上ハ今井^上の四郎^上兼平^上八百^上余^上騎^上
 まて指^上送^上に宇治^上橋^上ハ仁科^上高^上梨山^上田^上の次^上
 郎^上五百^上余^上騎^上まて送^上し^上く^上一^上只^上ハ伯父^上の
 信田^上の三^上郎^上先生^上義教^上三百^上余^上騎^上まて向^上き

れ^上り去^上程^上ハ東^上玉^上より攻^上る^上大^上子^上の^上大^上名^上
 軍^上ハ浦^上の^上曹^上子^上範^上頼^上頼^上子^上の^上大^上名^上軍^上ハ
 九^上郎^上内^上曹^上子^上義^上頼^上宗^上後^上の^上大^上名^上三^上十^上下^上余^上人^上都^上
 合^上其^上勢^上六^上万^上余^上騎^上とぞ^上笑^上へし^上口^上説^上其^上比^上謙^上
 余^上飯^上よハ生^上食^上鹿^上鹿^上中^上の^上名^上る^上有^上り^上生^上食^上
 在^上梶^上原^上源^上太^上京^上季^上頼^上よ^上在^上ヤ^上ル^上共^上是^上ハ自^上
 然^上の^上事^上の^上有^上ん^上時^上頼^上頼^上が^上物^上具^上く^上そ^上可^上馬^上也^上是^上

も方ぬ^コ怒る^上そ連^主極^上の^上八^上磨^上を^上こ^上賜^コてん
 くれ^上夜^上近^上江^上の^上玉^上の^上住^上人^上佐^上木^上而^上言^上細^上語^上曉^上
 は糸^上れ^上る^上は^上謙^上念^上ぬ^上い^上と^上思^上へ^上れ^上ん^上下^上座^上
 の^上者^上い^上幾^上等^上も^上有^上れ^上共^上其^上旨^上存^上せ^上よ^上中^上生^上食^上を^上
 佐^上木^上は^上賜^上佐^上木^上臨^上分^上生^上食^上賜^上つ^上て^上此^上れ^上は^上良^上
 ま^上つ^上て^上中^上立^上方^上の^上甲^上勢^上今^上夜^上此^上處^上る^上そ^上う^上治^上川^上の^上良^上
 先^上後^上い^上り^上ふ^上可^上白^上聲^上若^上死^上う^上と^上思^上へ^上れ^上て^上ひ

へ^上ん^上は^上先^上を^上せ^上り^上れ^上ん^上う^上と^上思^上へ^上れ^上ひ^上次^上
 又^上生^上う^上う^上と^上思^上へ^上れ^上て^上ひ^上い^上と^上思^上へ^上れ^上治^上川^上の^上
 先^上陣^上を^上佐^上木^上を^上志^上つ^上り^上ん^上者^上を^上と^上思^上へ^上れ^上ひ^上
 り^上次^上連^上け^上花^上を^上は^上つ^上こ^上民^上立^上口^上説^上糸^上を^上し^上る^上大^上勢^上
 小^上名^上天^上晴^上意^上涼^上の^上下^上ケ^上か^上柳^上哉^上と^上思^上へ^上れ^上合^上れ^上る^上
 拾^上怨^上く^上謙^上念^上を^上ま^上つ^上て^上足^上柄^上を^上経^上て^上後^上も^上有^上相^上
 根^上は^上掛^上る^上勢^上も^上有^上思^上ひ^上く^上よ^上上^上る^上程^上は^上改^上河^上の^上

玉藻^{コア}の^上衣^{コア}を^上櫛^{コア}原^{コア}源^{コア}太^{コア}宗^{コア}季^{コア}を^上ら^{コア}ふ^{コア}上^{コア}
 り^{コア}勢^{コア}し^{コア}櫛^{コア}て^{コア}勢^{コア}く^{コア}の^{コア}る^{コア}共^{コア}を^{コア}見^{コア}ル^{コア}る^{コア}思^{コア}ひ^{コア}く^{コア}の^{コア}
 勢^{コア}を^{コア}色^{コア}く^{コア}の^{コア}勢^{コア}ひ^{コア}掛^{コア}或^{コア}は^{コア}口^{コア}よ^{コア}引^{コア}て^{コア}或^{コア}は^{コア}諸^{コア}口^{コア}
 よ^{コア}引^{コア}て^{コア}幾^{コア}千^{コア}方^{コア}と^{コア}云^{コア}救^{コア}を^{コア}知^{コア}れ^{コア}引^{コア}通^{コア}て^{コア}こ^{コア}ふ^{コア}を^{コア}中^{コア}
 コ^{コア}ア^{コア}上^{コア}も^{コア}系^{コア}季^{コア}が^{コア}賜^{コア}つ^{コア}る^{コア}慶^{コア}を^{コア}云^{コア}ふ^{コア}猶^{コア}互^{コア}る^{コア}こ^{コア}そ^{コア}せ^{コア}り^{コア}
 コ^{コア}ア^{コア}而^{コア}は^{コア}見^{コア}て^{コア}見^{コア}る^{コア}ふ^{コア}呂^{コア}愛^{コア}ふ^{コア}生^{コア}食^{コア}と^{コア}光^{コア}愛^{コア}
 下^{コア}音^{コア}一^{コア}る^{コア}こ^{コア}そ^{コア}未^{コア}来^{コア}れ^{コア}上^{コア}音^{コア}金^{コア}度^{コア}漏^{コア}の^{コア}勢^{コア}を^{コア}小^{コア}総^{コア}の^{コア}

勢^{コア}ひ^{コア}掛^{コア}白^{コア}勢^{コア}た^{コア}げ^{コア}白^{コア}沫^{コア}を^{コア}ま^{コア}て^{コア}舍^{コア}人^{コア}勢^{コア}多^{コア}付^{コア}
 コ^{コア}ア^{コア}コ^{コア}ア^{コア}と^{コア}共^{コア}に^{コア}引^{コア}も^{コア}下^{コア}堪^{コア}は^{コア}踊^{コア}せ^{コア}こ^{コア}そ^{コア}未^{コア}来^{コア}れ^{コア}
 白^{コア}勢^{コア}櫛^{コア}原^{コア}打^{コア}寄^{コア}て^{コア}仕^{コア}る^{コア}誰^{コア}に^{コア}仕^{コア}る^{コア}ふ^{コア}ぞ^{コア}依^{コア}木^{コア}
 殿^{コア}の^{コア}仕^{コア}る^{コア}ふ^{コア}依^{コア}木^{コア}三^{コア}節^{コア}殿^{コア}の^{コア}面^{コア}而^{コア}殿^{コア}の^{コア}面^{コア}而^{コア}殿^{コア}の^{コア}
 仕^{コア}る^{コア}ふ^{コア}引^{コア}透^{コア}す^{コア}櫛^{コア}原^{コア}安^{コア}ら^{コア}ぬ^{コア}事^{コア}也^{コア}同^{コア}櫛^{コア}
 よ^{コア}仕^{コア}る^{コア}系^{コア}季^{コア}を^{コア}依^{コア}木^{コア}思^{コア}ふ^{コア}仕^{コア}る^{コア}れ^{コア}る^{コア}
 事^{コア}こ^{コア}そ^{コア}送^{コア}恨^{コア}の^{コア}次^{コア}来^{コア}る^{コア}れ^{コア}今^{コア}夜^{コア}都^{コア}を^{コア}り^{コア}木^{コア}を^{コア}

殿の内よ山天王と夢ゆる今井樋口栢根井と組
 で死るる筈は西へ向つて平家の侍ひと軍し
 て死んどこそ思ひしは竹の葉色でふも涙を
 止る要只今爰そ佐木を待受引組で指遠
 能佐三人死て後念殿は撥取せなつんと吟ひて
 おそ^上待掛^上これ^上口^上佐木何心もぞお登
 しまそ歩^上行^上せお来り^上栢^上根^上井^上並^上てや組^上可^上向^上

栢は^上落^上れと^上思^上ひ^上る^上が^上先^上祠^上を^上そ^上掛^上ける^上
 い^上ろ^上は^上佐^上木^上殿^上は^上生^上食^上賜^上り^上と^上お^上ひ^上て^上参^上り^上と^上あ^上ふ^上
 か^上と^上云^上れ^上は^上佐^上木^上夫^上晴^上北^上仁^上も^上内^上と^上お^上お^上と^上あ^上る^上と^上
 佐^上し^上物^上を^上と^上受^上度^上思^上ひ^上さ^上ん^上び^上今^上夜^上世^上は^上太^上事^上よ^上
 孫^上登^上ひ^上が^上宇^上治^上も^上勢^上多^上を^上定^上て^上栢^上を^上引^上る^上ん^上
 お^上そ^上川^上を^上渡^上り^上る^上は^上食^上を^上市^上に^上と^上た^上存^上つ^上目^上
 共^上に^上辺^上の^上や^上せ^上あ^上ふ^上て^上は^上許^上さ^上さ^上も^上せ^上の^上増^上て^上

言細あんとかやハ連よも賜らし後日よも成
 効当ふも存ハ存と存つ明日ハ連の晩舎人
 は心我舎て指もハ秘秘の食食を盗盗を盗
 そふいりハ梶梶と下下云ハ初初梶梶
 祠ハ腹ハ唇ハ嫉ハ去ハ糸季も盗ハつる都
 を連咄と笑てぞ除ハる

宇治川
 口流道守
 依々木の四節の賜られようる

ハ黒栗毛成馬の極太ふ足ぬハ馬を
 も人ハも連を拂て喰ハれハ生好ハ
 付られようハ寸の馬とぞ少へハ
 が賜つようるハも極太ふ足ぬハ
 誠ハ黒ハれハ磨磨とハ付られよう
 何れも方ぬ名馬之去極ハ東國の大勢
 大ハ極ハ二ハ別て攻参ハ拾
 大ハ

の大^ハ名^ナ軍^アよハ蒲^ハの^ハ曹^ハ子^ハ能^ハ頼^ハ相^ハ伴^ハ人^ハ
 武^ハ田^ハの太^ハ部^ハ加^ハ賀^ハ見^ハの次^ハ部^ハ一^ハ条^ハの次^ハ部^ハ板^ハ垣^ハ
 の三^ハ部^ハ細^ハ毛^ハの三^ハ部^ハ榛^ハ谷^ハの四^ハ部^ハ無^ハ谷^ハの次^ハ部^ハ
 猪^ハ俣^ハの小^ハ平^ハ六^ハを先^ハとて都^ハ合^ハ其^ハ勢^ハ三^ハ万^ハ
 五^ハ千^ハ余^ハ騎^ハ近^ハ江^ハの^ハ下^ハ野^ハ次^ハ條^ハ原^ハよそ^ハ回^ハ
 陣^ハを取^ハ取^ハ櫛^ハ子^ハの^ハ下^ハ音^ハ大^ハ將^ハ軍^ハよハ九^ハ部^ハ
 内^ハ曹^ハ子^ハ義^ハ經^ハ回^ハふ伴^ハふ人^ハと^ハ上^ハ音^ハ安^ハ田^ハの三^ハ

部^ハ大^ハ内^ハの太^ハ部^ハ昌^ハ山^ハの^ハ下^ハ音^ハ次^ハ部^ハ板^ハ垣^ハ太^ハ
 佐^ハと木^ハ四^ハ部^ハ糟^ハ谷^ハの^ハ太^ハ淡^ハ谷^ハの右^ハる^ハ元^ハ平^ハ
 山^ハの武^ハ者^ハを先^ハとて都^ハ合^ハ其^ハ勢^ハ二^ハ万^ハ五^ハ
 千^ハ余^ハ騎^ハ伊^ハ賀^ハの^ハ下^ハ音^ハ国^ハを^ハ經^ハて宇^ハ治^ハ橋^ハの^ハ詰^ハ
 よそ^ハ下^ハ音^ハ押^ハ寄^ハし^ハる^ハ初^ハ音^ハ連^ハ宇^ハ治^ハも^ハ勢^ハ田^ハも^ハ橋^ハ
 を^ハ引^ハ水^ハの^ハ底^ハよハ乱^ハ杭^ハ打^ハて大^ハ綱^ハ張^ハ送^ハ茂^ハ
 木^ハ繋^ハお^ハて流^ハ掛^ハより^ハ三^ハ音^ハ甲^ハ比^ハハ^ハ睡^ハ月^ハ廿^ハ日^ハ余^ハ

の連 車あるバ 比良の連 高峰志賀の
 山昔あるの雪も消 甲 谷の連 氷打
 解て水ハ折節増りし 下 白浪影と
 波漲り落涙枕大 下 龍鳴て逆巻
 水も早うり 初 夜ハ既ハ明れど川
 霧深く立竝て馬の毛も 燈の毛も定々
 成 日 大將軍九郎は曹子義経川

の端より打たる遙の水の面を見渡して人々の
心を見んとや思ひぬらん淀一口へや向ふべき
又河内路へや廻可水の落足布や待可め
ちんちと宣ふ交ふよ守愛は武蔵の國の住
人昌山の底百次市重忠生年二十下ケ一は
咸多るが連進出て中なるハ甲子
上々引越上中中上一串主上一ヒろ
沙汰ハ秘念もとも能くひりひしそじ白

日比知し^上 されぬ^上 海川^上 が俄^上 よあ来^上 ても^上 ひの^上
 上^上 ぐこそ^上 近^上 江^上 の湖^上 の末^上 る^上 れ^上 バ侍^上 せ^上 と^上 水^上
 私^上 は^上 橋^上 を^上 バ又^上 誰^上 ら^上 渡^上 て^上 氣^上 を^上 去^上 る^上
 上^上 治^上 美^上 の合^上 戦^上 よ^上 足^上 利^上 の又^上 太^上 師^上 忠^上 綱^上 生^上 年^上
 上^上 十七^上 歳^上 と^上 名^上 を^上 あ^上 へ^上 渡^上 る^上 も^上 鬼^上 神^上 よ^上 せ^上 ハ^上
 上^上 も^上 も^上 ひ^上 ら^上 べ^上 し^上 口説 上^上 重^上 忠^上 先^上 淡^上 路^上 仕^上 つ^上 り^上 の^上
 上^上 ん^上 連^上 丹^上 の^上 堂^上 を^上 宗^上 と^上 せ^上 五^上 百^上 余^上 騎^上 下ケ

密シくニとハ瘧マダラこをヲ
 連ツル走ハシ並ナリるト交カふニはス拾ヒク愛アイ
 は平ヘイ智チ院インの良ヨシい橋ハシおの小嶋コノシマが崎サキより武
 者ア二ニ騎キ引掛ヒキケくわクありアリ照テウ一イチ騎キはハ梶カキ原ハラ
 源太景季ゲンタイケイキ導ドウ一イチ騎キはハ佐々木ササキ四郎高細也シロタカホセ
 連ツル人目ヒトメよ何ナニを見ミへずレられタ肉ニク先サキは
 心を掛カけられバ梶原カキハラは佐々木ササキよ一イチ反斗ハンタウに進シン
 可カらラ得エ佐々木ササキめメつツは梶原カキハラ殿ドン井川イノガワは西玉セイギク一

の大河ぞや腹帯の延て見えそふ縮むと
 云れバ **服** 梶原虎も存りんとや男ひん
 細を馬の結髪は捨 **音曲** 虎右の袍を踏
 透腹帯を解てぞ縮する **子** 佐木
 其間。其を突と弛抜て川へ流とぞ打
 入る **服** 梶原流りぬとや男ひん
 後て打入る 梶原男の佐木殿名

ぞう史不覺志むふ水の底は矢細有
 ん心得玉へと云れバ **子** 佐木実も
 とや男ひん太刀を抜て馬の足は掛る
 大細ををふと打切く 宇治川早
 しと雖も生食と云世一の馬はハ分るけ
 リ一文字は刻と下 後て向ひの岸ぞぞ **呂**
 着るる **服** 梶原 **初** **連** 参るる鹿

雲ハ連川中より篋繫形に押成れて
 遙の下より打上り口説其後佐木親
 跋扈立上り大音聲を上て宇多の天
 皇は九代の後胤近江の國の住人佐木三
 市秀義の四男佐木四郎高細は治川
 の先陣ぞや木更庵の依方我と思はん
 人ぞい寄合や下見見氣せん中呼て魁
 劔

其後昌山五百余騎打合て後に向ひり
 岸より山田の次市が村なる矢は昌山の
 額を篋深は村を蹴れ川中より石
 杖を突て下りて岩波甲の段へ廻と
 押掛れ昌山是を車たせ水底
 を潜て白ひの岸より口説美なるる口説
 打上りとあるあるは後より相こそ世を

と和へられ後と問は重親と答ぬる大
梯乃さんび大梯の次郎ハ昌山が為ハ鳥
帽子子よそぞひりひる

換節 打よりんと来るあま後より物こそ
中上中上中上中上中中中中中中中中
中上中中上中中中中中中中中中中中中
ふいふ大串乃さんひらふ大串の次郎ハ
昌山が為ハ鳥帽子子よそぞひりひる

口説 余りハ水が早て馬を百川中より押流流
ぬ力及たて湧ふよ先迄付きてゆふとやられ
昌山何ハ和ぬわが梯成者ハ重忠ハこそ
助けられんびれ連大梯を樹で岸の上へ
そ投上しる投上りれて只あう太刀を
抜て観よ大音聲を上げて
の國の住人大梯の次郎重親宇治川の

歩^上の^中先陣^中そ^中やと^上そ^上名^上系^上よ^上る^上
 敵^上も^上味^上が^上も^上是^上を^上少^上て^上一^上夜^上よ^上吐^上と^上そ^上笑^上
 ひ^上る^上 拾 其^上後^上昌^上山^上系^上習^上よ^上お^上て^上呼^上て^上魁^上
 爰^上よ^上奥^上後^上の^上重^上垂^上よ^上排^上威^上の^上禮^上よ^上て^上連^上
 残^上少^上毛^上成^上一^上る^上よ^上金^上慶^上梅^上の^上鞠^上を^上愛^上
 系^上う^上る^上武^上者^上一^上濟^上真^上先^上よ^上進^上よ^上る^上
 昌^上山^上爰^上よ^上魁^上る^上ハ^上何^上者^上ぞ^上名^上系^上やと^上云^上

此^上ハ^上是^上ハ^上木^上曾^上版^上の^上家^上の^上子^上よ^上長^上淡^上
 の^上非^上官^上代^上重^上組^上と^上名^上系^上昌^上山^上り^上て^上去^上た^上
 今^上日^上の^上軍^上神^上祝^上ん^上迎^上押^上並^上せ^上と^上組^上て^上
 引^上落^上し^上我^上系^上う^上る^上鞠^上の^上前^上悔^上よ^上押^上付^上
 些^上せ^上傷^上か^上さ^上民^上首^上捻^上切^上て^上本^上多^上の^上次^上前^上が^上
 鞠^上の^上取^上付^上こ^上そ^上付^上さ^上る^上れ^上是^上を^上始^上て^上う^上
 治^上橋^上園^上う^上る^上兵^上者^上せ^上彼^上不^上は^上不^上え^上返^上

合返合防戦ふと雖も東國の大勢は
 波て攻められばかり下及び木幡山伏見を
 指てぞ落行る初望勢田をバ稲毛の
 三郎重成が計ひよそ田上の佐治の波を
 こそ波れ

河原合戦

宇治勢田破しり六六將軍九郎